



受けた方がよいのでしょうか？ がん検診

わが国の「がん」による死亡者数は年間30万人を超え、死因第1位になりました。しかし、医療の進歩により、一部の「がん」は早期発見することで治療が可能になり、命を救えるようになってきました。

「自分は大丈夫」とか、「症状がないのに検診を受けないといけないの?」と思われる人も

多いでしょうが、無症状の人には「進行がん」が少なく、早期発見できる場合があります。ですから、症状がないうちに検診を受けることが大切なのです。がん検診は、一見健康な人に対して「がん」がありそう(異常あり)、「がん」がなさそう(異常なし)ということを判定し、「ありそう」とされる人を精密検査して命を救える「がん」を発見することが目的です。

とは言え、検診を受ける場合、多かれ少なかれ心理的負

担があります。検診で「がん」がありそう(異常あり)とされた場合、精密検査を受けなくてはなりませんし、悪性か良性か、検査結果が出るまでの間の心の負担は重いものです。しかし、がん検診のかけがえのない利点は、「がん」の早期発見と早期治療により命を救えることです。

吹田市では、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診、前立腺がん検診の6種類のがん検診を行い、「がん」による死亡を減少させ、市民の健康向上をめざしています。

救える命を落とさないために、がん検診を是非受けましょう。

吹田市医師会 相馬 孝